

SECURITY SHOW 2022 開催

セキュリティ&リテールステージ

「出入口におけるセキュリティ管理と最近の認証端末とその機能について」

日本経済新聞社主催の第30回 セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2022」が、2022年3月1日から4日間にわたり、東京ビッグサイト東展示棟で開催されました。

公益社団法人日本防犯設備協会では、出入管理機器委員会が、セキュリティ&リテールステージにおいて、3月2日(水)の11時30分より、「出入口におけるセキュリティ管理と最近の認証端末とその機能について」と題したセミナーを実施しましたので、紹介します。

【概要】

部外者の入室防止や機密情報の持ち出し対策など出入口のセキュリティ強化が求められています。その対応として今般「出入口のセキュリティガイド」を発行しました。本セミナーでは、出入管理システムの導入から運用・維持管理までの流れと、最近の認証端末とその機能について、オフィスや工場などのシステム事例を交え紹介するものです。

【講演者】

出入管理機器委員会 委員 這越 克己(はえこし かつみ)
株式会社クマヒラ 企画本部 トータルサポート事業部 次長

【聴講者数】

72名(定員100名のセミナー会場でのリアル)
266名(当日オンライン)
136名(アーカイブ期間(2月15日～3月11日)中のオンライン)



「防犯相談コーナー」

共催：総合防犯士会(ASES)、
公益社団法人日本防犯設備協会

日本経済新聞社主催による「防犯相談コーナー」を当協会と総合防犯士会が共催運営しました。防犯ガイド等を無料配布し、好評でした。

また、無料の「防犯相談コーナー」では、今年も近隣の地域協会から総合防犯設備士や防犯設備士の方々による1対1の相談を行いました。

